

広報みしま

町のすがた

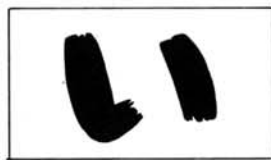
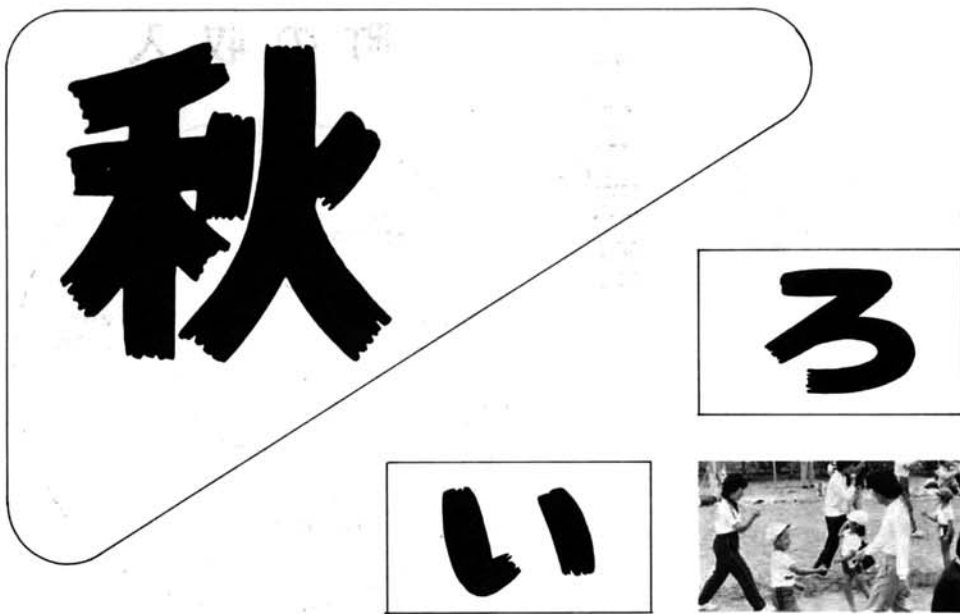
(10月1日現在)

人口 男 3,301人(-1)
 女 3,522人(-3)
 計 6,823人(-4)
 世帯数 1,651 (-2)
 ()は9月1日との比較



第223号
毎月15日発行
定価1部20円

昭和61年10月15日
 発行 新潟県三島郡三島町役場
 ☎(0258)442-2221
 印刷 長岡市 総合印刷 KK中 越

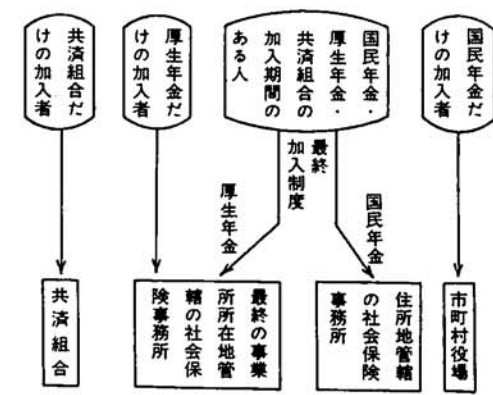


年金の請求手続きが変わりました

新しい国民年金制度が四月からスタートし、全国民に老齢基礎年金が支給されることになりました。

この改正により、年金の請求手続きも左表のように変わりました。

ただし、大正十五年四月一日以前に生れた人は、旧法により



年金を裁定しますので、従来どおり国民年金の請求は役場の窓口で手続きをしてください。

また、三月以前から厚生年金や共済年金などを受けている人で、国民年金の加入期間のある人の通算老齢年金も旧法で裁定します。

特別給付金を支給

◎戦傷病者等の妻へ

法律改正により、次に該当する戦傷病者の妻に特別給付金を支給されます。

◆継続対象者
昭和六十一年十月一日に第五款症以上の増加恩給等を受けている戦傷病者の妻で、今までに特別給付金国債を受けた妻、または受給権を有する妻。

◆新規対象者
昭和五十四年四月二日(満洲事変間の受傷・り病者は昭和四十八年四月二日)以後、七後重症となった戦傷病者の妻、または婚姻した妻で昭和五十八年四月一日に第五款症以上の増加恩給等を受けていた戦傷病者の妻。

◆平病死対象者
昭和五十八年三月三十一日までに死亡した戦傷病者の妻で、今年償還終了の特別給付金国債

を受けた妻、または受給権を有する妻、ただし公務扶助料等を受給している妻は、戦没者等の妻に対する特別給付金に移行し

◆請求期間
十月一日(内)から三年間。
詳しいことは、住民課福祉係へ。

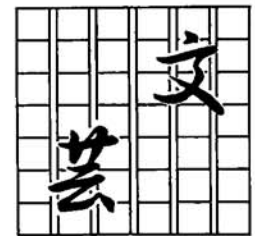
家庭奉仕員さん交代

片桐さんご苦勞様でした
 小熊さんお願いします

家庭奉仕員制度発足間もない頃から、家庭奉仕員として永年お勤め願いました片桐ミツイさん(吉崎)が、九月末日付で退職されました。永い間本当にご苦勞様でした。後任として逆谷の小熊栄子さんが勤められることとなりました。前任者同様、ご愛顧とご指導をいただきますようお願いいたします。

今月の納税

- *町民税・県民税 第三期分
- *国民年金保険料 第四期分
- *水道料 十月分
- *ガス料金 十月分



俳句

刈り終へて田のごとく煙立つ 安達 南風
 新米の香りのなかに卵わる 古見 哲二
 秋茄子のきりりと締まり皮をむく 木戸 忠津
 また来ると言ふて友立つ秋燕 尾竹 花翠
 吊革に己れ支へて秋濁き 遠藤 枯骨
 秋雨の樋の破れに集まりぬ 大滝 菁風
 父母の法事は稲を刈りし後 遠藤 素木
 陽を追ふて物干す日々や鶏頭花 井上 蝶子
 根立道跡登壇 丸山 義広
 先人の生活の跡や河芒 中村 遊雲
 稲刈りの束ねるときに稲まわす 棚橋 比呂志
 山止めの立札朽ちて山粧う

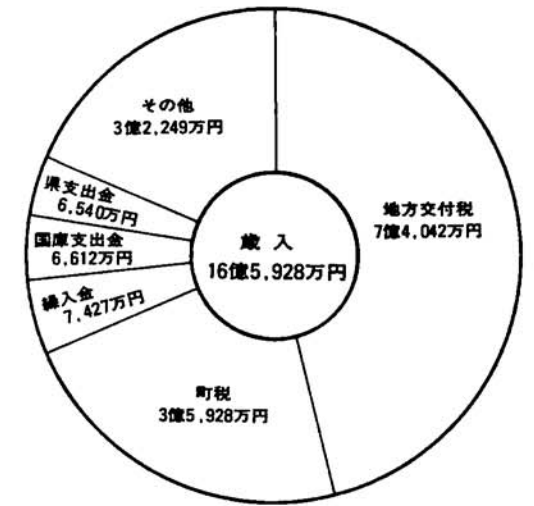


昭和60年度 決算のあらまし

歳出総額は15億6,500万円

昭和60年度町の財政事業のあらましを公表します。
 一般会計決算額は、歳入16億2,798万円、歳出15億6,542万円、歳入歳出差引額6,256万円となり、そのうち1,500万円を直接基金積立を行ない翌年度へは4,756万円を繰り越しました。

町の収入



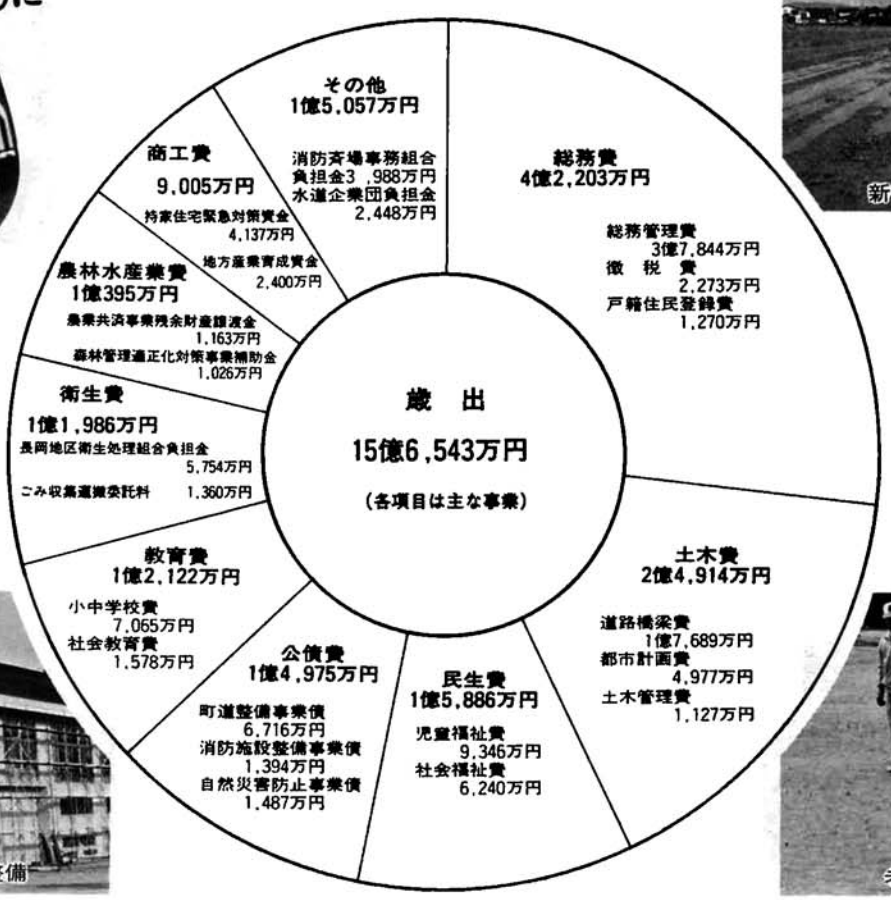
歳入
 歳入の占める割合の最も大きい地方交付税は、前年度より千二百九十七万円、固定資産税が千七百四十四万円それぞれ増額となったものの法人税は四百十五万円、鉱産税が昨年度に引き続き減収し六百四十万円の減となりました。然し町税全体では幸い二千二百六十七万円の増となり六・七％の伸びを示しました。

その他の歳入の主なものとしては、五十九年度のような新保のスポーツ公園の売却、公共土木災害の国庫支出金更に減債基金からの繰り入れや、多額の財政調整基金の取りくずし等がなかったため国庫支出金、財産収入、繰入金、繰越金及び町債等

は特に前年度よりかなり減少しました。また諸収入では持家住宅緊急対策資金元利収入と雑入の農業共済特別会計から合併するための繰り入れ金を受け入れたことでもあって、二千三百四十二万円(二九・二％)が前年度を上まわりました。

歳出
 総務費では教員住宅の改修工事費に五百九十万円、庁舎用地の買収費等庁舎建設について九千七百五十万円の支出を行ったことで基金設立は約四千万円の減となりました。民生費については、厚生福祉施設整備基金への積み立ては利子分のみとしたこと等で前年度より三千五百九十四万円の減となりました。衛生費については、長岡地区衛生処理組合負担金が千二百一十万円増となりました。

お金のつかいみち



農林水産業費としては長岡地域農業共済組合事務所建設費負担金等特別な支出が生じたこと、千二百五十八万円の増となりました。

商工費については、持家住宅緊急対策事業資金貸付制度の継続により、千二百五十八万円の増より伸びました。

土木費については、六十年から公共下水道特別会計を設けたこと及び新保地区の公園買収費のような特別大きな支出がなく二億五千六百二十三万円と大きく減少しました。

教育費については、新しく小学校社会科副読本を作成しましたが、町史編纂の終了や校舎改修工事も一応の目途がつき大きな工事もなかったことから四千二百二十万円の減少となりました。

また災害復旧費については、災害発生規模も小さく繰越明許もあって三千四百九十四万円の減となりました。

土地区画整理事業と企業誘致に最大の努力を続けてきました。きく減少しました。

教育費については、新しく小学校社会科副読本を作成しましたが、町史編纂の終了や校舎改修工事も一応の目途がつき大きな工事もなかったことから四千二百二十万円の減少となりました。

また災害復旧費については、災害発生規模も小さく繰越明許もあって三千四百九十四万円の減となりました。

第三回定例議会

去る九月二十四日、昭和六十一年第三回三島町定例会が開催され、会期を三日間と定めて審議を行ない、六十年度一般会計決算及び四つの特別会計決算の承認と条例改正案など原案通り可決されました。なお、陳情二件と請願一件が提出され、陳情、請願それぞれ一件が採択されました。

決算の承認

別に詳しく記載してあります。

補正予算関係

◆昭和六十一年度三島町一般会計
 一一・三・六％の伸びになっています。これは前年度では設計・調査段階の事業が主体であったが本年度から実質的な工事が開始されたことによるものです。

◆字の区域変更について
 大字気比宮字赤町と大字宮沢字川田を大字気比宮字久保田とする。(土地区画整理組合関係)

◆町道路線の変更について
 日吉平場三号線他三十二路線三島町不燃物処理場用地として三島町大字逆谷字大沢一三七一番地外の土地を取得しようとするもの。

◆少額貯蓄非課税制度の存続に関する請願について
 請願者 三島町婦人会長 三島町老連会長

◆私学助成の充実、強化に関する陳情について
 陳情者 長岡女子高等学校校長 中越高等学校校長

老人保健

◆歳入 三億八千八百一十万円
 ◆歳出 三億七千四百五十五万円

本年度決算の特色は歳出面では支払基金交付金の返還額の減少を受けて諸支出金が前年度に比べて六一・一％の減になったことと医療費が一四・三％の増にとどまったこと、歳入面では歳出の医療費給付の伸びに対応して支払基金からの交付金及び国庫支出金は増加しているが一般会計からの繰入金と前年度繰越金は減少していることなどです。

国保会計

◆歳入 三億千七百一十万円
 ◆歳出 二億九千八百六十六万円

本年度の特色は退職被保険者医療制度の比重が増えたことと国庫補助の特別調整交付金を財源としてコンピュータを設置したことです。

歳出面では例年に引きつづき保険給付費が伸びたことなどから前年度より三千三百六十四万円の増となりました。

これに対して歳入面では国保保険料の料率改正もあって前年度より二千六百七十四万円の増となりました。

農業共済事業

◆歳入 八千五百三十五万円
 ◆歳出 八千二百三十一万円

歳入歳出が大巾に伸びたのは六十一年度からの広域合併にそ

下水道事業

◆歳入 一億八百四十一万円
 ◆歳出 一億三百四十七万円

本年度は特別会計設置初年度のため、前年度と直接比較できないが、ちなみに前年度の一般会計決算額の対応するものと比較すると、本年度歳出決算額は

もうひとつの決算

死亡 70人	出生 75人 (男39人 女36人)	保育園児 203人
交通事故10件 (死亡1人 傷者9人)	結婚 23組	児童・生徒 849人 (小学生567人 中学生282人)
火災発生4件	離婚 5組	老人 1,202人 (65歳以上)

教育委員に斎藤イト氏就任

教育委員会委員の青柳義家氏の任期満了にともなう任命案について、十月七日の町議会第二回臨時会において同意があり、七日市の斎藤イト氏の就任が決まりました。



広報カレンダー

Calendar table with columns for month, day, and events. Includes dates from 10/15 to 11/17 with various community activities listed.

10月26日~11月1日 秋季火災予防運動

みんなで防火……そのポイント

- 火あそびはしない
○寝たばこはしないさせない
○天ぷらで家まで揚げないように
○ストーブの周りは大丈夫?



与板郷消防本部管内の本年1月から8月までの出火件数は8件で、尊い命までも奪われました。地域、家庭の一人ひとりが防災に務め、火災のない住みよい町村にいたしましょう。

地域防災の担い手 消防団



消防署では、消火器の販売や点検を業者に依頼することはありません。悪質消火器販売者の身なりは、消防職員と同じ紺色の作業服を着ていることが多いです。お年寄りの留守番家庭が一番狙われやすく、おかしいと思ったら、金は払わず消防署・警察署へ電話してください。

悪質消火器販売業者に注意

お知らせ
三島町役場 42-2221(代)
日吉支所 46-2049
ガス企業団 42-2671
水道企業団 72-2259
斎場組合 72-2572



火事・救急 119

今月の保健行事

Table of health events with columns for target audience, content, date, and venue. Includes events for influenza, dental checkups, and parent-teacher meetings.

初の一人ぐらし老人給食会

町社会福祉協議会では去る9月27日、福祉センターにおいて初めての昼食会を開きご出席された方々から好評をいただきました。



ボランティアとして働いてくださいました方々に、厚くお礼を申し上げます。

九月一日現在、町内にお一人で暮らされる方が四十八名、この内長期入院、不在等十一名を除き、三十七名の方にご案内をしたところ、当日二十二名の方がご出席されました。みしま園の斎藤栄養士さん、婦人民生委員さん外、大勢のボランティアの方々の協力で、すべて手作りの料理をご賞味いただきました。



実際の活動

- 必須事業
みしま園 慰問
清掃美化運動
○任意事業
稲作り
サツマイモ作り
花壇作り

脇野町小学校では、六十一年六十二年度にわたり「豊かな心を育てる教育活動」に取り組んでいいます。この活動は、社会奉仕活動や勤労体験学習等の体験的な学習活動を通して、社会共同体の一員としての豊かな心を持った児童を育成することがねらいです。

豊かな心を

みしま園を慰問して

九月にみしま園を慰問した二年生は、次のように書いています。「歌をうたったとき、おじいさんとおばあさんは、涙を出して手をたたいていました。泣いてはくしゅしていているからやっぱりかなしいんだね。プレゼントをあげたとき、また泣いていました。わたしも泣きそうになりました。わたしも泣きそうになりました。わたしたちも泣きそうになりました。わたしたちも泣きそうになりました。」

九月にみしま園を慰問した二年生は、次のように書いています。「歌をうたったとき、おじいさんとおばあさんは、涙を出して手をたたいていました。泣いてはくしゅしていているからやっぱりかなしいんだね。プレゼントをあげたとき、また泣いていました。わたしも泣きそうになりました。わたしも泣きそうになりました。わたしも泣きそうになりました。わたしも泣きそうになりました。」

稲刈り

九月十二日に五・六年が稲刈りをしました。おそろおそろ初めて使う稲刈り鎌、なんとなくぶきつちよに握る稲、慎重に刈り取る一人ひとり。それでも落ち穂も残さずきれいに刈り取りました。脇野町の横沢泰二さんのご好意により十アールの田植えと稲刈りをさせていただき、感謝しつつ、大成功の刈り入れでした。

清掃・美化運動

脇野町バス停車場の清掃・美化には、五・六年生があたっています。バス停内の掲示板の新設、ゴミかごの新設、草取り、清掃を行ないます。掲示板には子どもたちの絵も飾られます。

十一月に収穫感謝祭

稲作り、町農業後継者育成事業の援助を受けた全学年によるサツマイモ作り、全校による花壇作り、みしま園慰問、バス停の美化など児童会VS委員会週一回活動の活動を通じて子どもたちの心に何が残されるか、何が育つか期待される活動です。

日赤奉仕団にご加入ください

今日日本は、他の先進国に例をみない速度で高齢化が進み人生八十年時代を迎えました。日本の高齢化はまだまだ進み西暦二千年頃がピークともいわれております。

各種相談の「ご利用を」

皆さんが毎日の生活の中で心配されていること、困ったことやめごと等がありましたら左に掲げる委員の方にお気軽にご相談ください。
○三島町大字上岩井九六番地 片野重平 電話四二二〇二七
○三島町大字藤川一〇六九番地 松浦伊智郎 電話四二二〇七
○三島町大字上岩井八四二番地 佐藤才一郎 電話四二二〇二九
○三島町大字逆谷二〇六四番地 小原清司 電話四二二〇二二
○三島町大字大野七七五番地 名塚一成 電話四二二七五
心配ごと相談は毎週火曜日午後一時半より町総合福祉センターにおいて開催しております。